

「第1回 自然観察会」開催！

～国営備北丘陵公園内で庄原市内小学校の
課外授業を行います。～



昨年の「第1回 自然観察会」の様子（2022年6月8日撮影）

国営備北丘陵公園では、庄原市内の小学校の課外授業の一環として、庄原市立東小学校の児童の皆さんを対象に「自然観察会」を年4回（6・7・10・1月）開催しています。公園内の動植物を採集・観察し、子どもたちに自然の大切さについて学んでもらうプログラムです。

「第1回 自然観察会」開催！

【日時】2023年6月6日（火） 9：00～11：40

【場所】国営備北丘陵公園内 ひばの里 参集殿とその周辺

【概要】①持続可能な地球のあり方についてのお話、②身近な生き物の観察・スケッチ、
③自由研究とは何かについてのお話 他

【参加】庄原市立東小学校 35名（3年生 33名、教員 2名）

お問い合わせ先

国営備北丘陵公園 備北公園管理センター
企画広報課 課長補佐：すえなが末長

〒727-0021 広島県庄原市三日市町 4-10
TEL：0824-72-7000 FAX：0824-72-7828
メール：kikaku@bihoku-park.jp
ホームページ：<https://www.bihokupark.jp>

令和5年度 国営備北丘陵公園

「第1回自然観察会」の実施要項

1 主催

備北公園管理センター

2 趣旨

公園内の生き物を観察して「なぜ?どうして?」という科学する心を育む総合学習にする。

「見る」⇔「考える」⇔「説明する」ことが出来る人を育てる。

SDGsに注視し、持続可能な地球のあり方を考え自然体で考えられる人を育てる。



3 日程

2023年6月6日(火) 9:00 ~ 11:40 (雨天決行)

4 対象

- 庄原市立東小学校(3年生 33名、教員 2名)

5 会場

- 国営備北丘陵公園内 ひばの里 参集殿とその周辺



6 具体的な内容

- ① 持続可能な地球のあり方について、自然を壊して人が住めなくなっていったイースター島を視察した体験談から、今の生活を続けていて100年後にも私たちは地球に住めるのかを考え、話し合ってみよう!

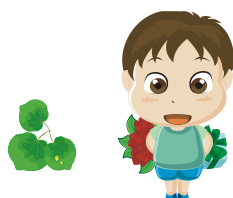
- ② 昆虫(カナヘビ、トカゲ)、メダカ博士の清田博之先生からお話を聞き、ひばの里周辺をフィールドとして観察を行い、昆虫採集と簡単なスケッチを行います。

- ③ 身近にどんなところにどんな生き物や植物がいるのか、自由研究とは何かについてお話しをします。



7 講師

- ① 清田 博之先生 (カナヘビ、トカゲのお話し ほか)
- ② 梶岡 幹生先生 (ビオトープとSDGsのお話し ほか)
- ③ 清水 博生先生 (身近な生き物と植物、自由研究のお話し ほか)



9:00 ~ 9:05	開会 主催者あいさつ・先生の紹介 スケジュールと注意事項	(5分)
9:05 ~ 9:20	①「平成15年にビオトープをつくりました」 ②「ビオトープ」とは何か？なぜ？どうして？	梶岡 (15分)
9:20 ~ 9:35	③ 身近な生き物、植物はどんなものがある？ 自由研究をしてみよう！	清水 (15分)
9:35 ~ 9:50	④ カナヘビ、トカゲの話 	清田 (15分)
9:50 ~ 10:00	休 憩	(10分)
10:00 ~ 10:45	⑤ 園内の昆虫採集と観察 	清田・清水 (45分)
10:45 ~ 10:50	休 憩	(5分)
10:50 ~ 11:15	⑥ 昆虫のスケッチ	清田・清水 (25分)
11:15 ~ 11:40	⑦ 先生への質問コーナー ・何人かの生徒が発表 閉 会 	(25分)

《 服 装 》

- 楽な服装
- ぼうし、運動靴
など動きやすい服装

《 持参するもの 》

- 水筒
- 画板と色鉛筆
など

